

# 26年度

## 2級管工事施工管理技士 実地試験解答試案

2013/11/17 更新/11/18 更新/11/19

■ 以下に記載する解答は、本試験実施団体による解答ではありません。受験者の参考に資するための当社の試案によるものです。

### 【問題NO1】

番号	正誤	理由又は改善策
(1)	×	鉛直線上左右に 45℃以内の角度で接続する。
(2)	×	流出管にトラップを設ける。
(3)	×	耐火区画貫通部は t 0.3mm 以上の亜鉛めっき鋼板枠で覆う。
(4)	×	防振ゴム上のナットをダブルナットとする。防振ゴム下のナットはとる。
(5)	×	ねじゲージの a 面より管端がでていのはねじ径が小さすぎるので、管端が面 a と面 b の間に位置するよう修正する。

### 【問題NO2】

①	軸受の注油を確認する。
②	ポンプを手で回して回転むらがないか、グランドパッキンの締めすぎがないかを点検する。
③	カップリングの水平度を確認する。
④	瞬時運転して回転方向を点検する。

この他

- 呼び水じょうごより注水して、エア抜きし満水にする。
- 吐出弁を閉めて起動する。
- 瞬時運転して回転方向を点検する。
- 吐出弁を徐々に開いて、流量計により（流量計が無い場合は試験成績表の電流値を参考にして）規定水量に調節する。
- グランドパッキンからの水滴の滴下が適切か確認する。
- 軸受温度を点検する。（原則として周囲空気温度より 40℃以上高くなってはならない。）  
－ など

### 【問題NO3】

①	敷地排水管の延長が、その管径の 120 倍を超えない範囲に設ける。
②	柵の大きさは内径又は内法の 15cm 以上の円形、角形とする。
③	インバート柵のインバートは 20mm 程度の落差を設ける。
④	雨水柵には 150mm 以上の泥だまりを設ける。

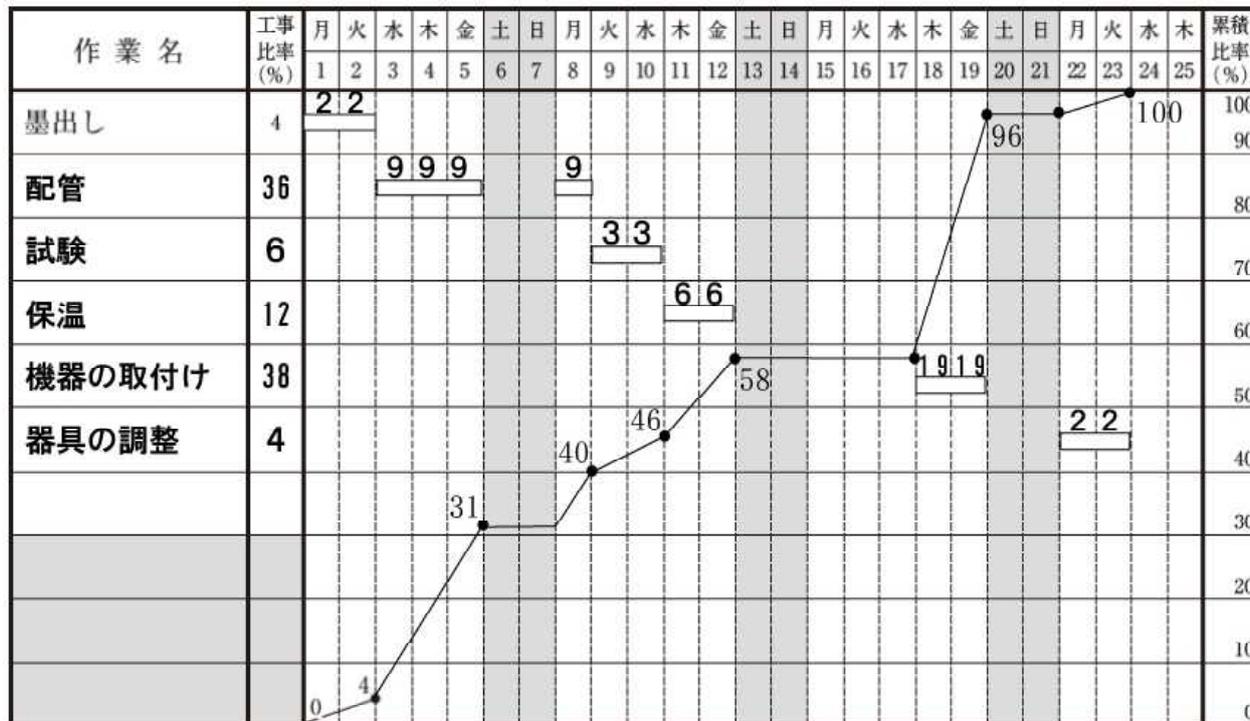
- トラップは封水深さを 50～100mm 程度とる。

- 排水柵は敷地排水管の起点、合流場所、勾配の著しく変化する場所、清掃、点検上必要な箇所  
に設ける。  
ーなど

**【問題NO 4】**

**【問題NO 4】**

設問 1～3



設問 4
バナナ曲線

設問 5
ガントチャート

**【問題NO 5】**

設問 1		設問 2		
A	B	C	D	E
3 0	3 5	安全衛生推進者	作業主任者	技能講習

■ 試案に関する問い合わせ、ご指摘は下記にて受け付けております。

**TGK (株) 東北技術検定研修協会**

本 社 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-26ネオハイツ勾当台2F

TEL 022(738)9312 FAX 022(738)9365

お問い合わせ E-mail : info@touhokugiken.com

お申込の場合は右記まで 七十七銀行 本店 (曹) 0213691 (株) 東北技術検定研修協会 (本社住所) 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-26-2F